

## 第 48 回インナーゼミナール大会

### 研究計画書

<b>ゼミ名</b>	中川ゼミⅡ	<b>チーム名</b>	中川ゼミ 環境班チーム
<b>タイトル</b>	産業廃棄物の不法投棄防止～不法投棄のない社会を目指して～		
<b>テーマ群</b>	c)公共経済		
<b>メンバー</b>			
<b>研究計画内容</b>	<p>近年、不法投棄や産業廃棄物問題が社会問題化となっている。投棄件数、投棄量ともに、減少してきてはいるが、不法投棄の被害は変わらず多い。被害として臭気や粉塵、有害物質を含有する汚水の流出、環境汚染、火災や廃棄物が積まれた山の崩落による物的損失がある。</p> <p>このように、不法投棄が起こることで、排出業者や地域住民や自然に被害がある。したがって、不法投棄を防止するために、不法投棄の要因を明らかにし、不法投棄を減らすための政策をとることが重要である。</p> <p>政府は基本方針として、廃棄物処理法の改正、全国ごみ不法投棄監視ウィーク、不法投棄撲滅アクションプランを公表した。不法投棄撲滅アクションプランにおいては、車両へのステッカー貼付、監視活動（監視カメラ）、各都道府県または市町村での講習会、車両点検を行い、不法投棄防止を図っている。この方針にしたがって、政策を行うことで、不法投棄に対する監視が強化され、不法投棄の抑制が可能となる。そのため、産業廃棄物の不法投棄は減少した。しかし、近年でも大規模な不法投棄事案は発生している。したがって、車両へのステッカー貼付、監視活動（監視カメラ）、各都道府県または市町村での講習会、車両点検の不法投棄防止に対する取り組みの強化が求められる。</p> <p>そこで本稿では、産業廃棄物の不法投棄防止の政策を行うことによって、不法投棄を抑制し、「不法投棄のない社会」を実現することをビジョンとして掲げ、研究を進める。</p>		